

JVA REPORT

12

'17 DECEMBER
NO.185

MAIN REPORTS

- 『11月3日はビデオの日』キャンペーン実施報告
- ビデオレンタル店実態調査 結果報告
～月平均レンタル総売上は464.4万円、
前年比89.2%と大幅減～

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW



「11月3日はビデオの日」キャンペーン実施報告	2
臨時総会および第370回、第371回定例理事会開催報告	4
ビデオレンタル店実態調査 結果報告	5
eメディア部会運営委員会開催報告	8
「映像市場規模及びユーザー動向調査2017」について	8
JVA&JVR共催「VRセミナー（前編・後編）」を開催	8
映像データベースの作品登録状況	9
2018年度 新入社員合同研修会開催のお知らせ	9
2018年新年賀詞交歓会開催のご案内	10
西日本合同 賀詞交歓会開催のご案内	10
2018年重要会議・行事日程	10
不正商品対策協議会	11
コンテンツ海外流通促進機構	12
リレーエッセイ⑫	13
日誌に見る協会の動き	13
月間売上統計（9月、10月）	14

『11月3日はビデオの日』キャンペーン実施報告

本年の11月3日の「ビデオの日」を迎え、セル、レンタルそれぞれのキャンペーンが始まった。「ビデオの日」周辺の動きをレポートする。

■『プレミアムフライデー ハロウィンシネマパーティー in東京国際映画祭』の開催

年間を通じてレンタル市場活性化を図るため、毎月やってくるプレミアムフライデーに着目し、本年8月から「月末金曜は、レンタル店に行こう。プレミアムフライデーはおうちでエンタメ！」キャンペーンを実施している。10月のプレミアムフライデーにあたる10月27日(金)は、ちょうど第30回東京国際映画祭が開催されており、映画祭会場の六本木ヒルズアリーナにおいて、『プレミアムフライデー ハロウィンシネマパーティー in東京国際映画祭』が開催された(プレミアムフライデー推進協議会主催、JVA協力)。この日のイベントには、島谷能成ビデオの日実行委員会委員長(JVA会長)のほか、世耕弘成経済産業大臣、石塚邦雄日本経済団体連合会副会長、プレミアムフライデーナビゲーターの関ジャニ∞の丸山隆平さん等が参加し、『プレミアムフライデーは、映画・映像を楽しもう!』とアピールした。

このイベントの冒頭部分で島谷委員長は、「今月8月から、『月末金曜は、レンタル店へ行こう!』という

キャンペーンを始めました。お店でもプレミアムフライデーに合わせていろいろなサービス、キャンペーンを全国で展開しています。売上が他の週末に比べて5%アップしたというお店もあり、効果を実感しているところです。皆さんもプレミアムフライデーにはレンタル店に行ってください、おうちで豊かな時間を過ごしていただければと思います。」とPRした。このスピーチは、後述するNHK首都圏ネットワーク(11月2日18時10分から)の特集でも取り上げられ、放送された。

また引き続き行われた第2部のイベントでは、“ビデオの日 presents『パイレーツ・オブ・カリビアン 最後の海賊』MovieNEX発売記念 “プレミアムフライデーハロウィンシネマ上映会”が開催された。ハロウィーンに近い日程でもあり、SNS等で事前に「仮装して上映会を楽しもう!」と呼びかけた結果、楽しい仮装をした一般の方々が大勢集い、映画祭の取材にきていた海外のメディアからインタビューされる人たちも見られた。『11月3日はビデオの日・月末金曜はレンタル店へ行こう。』のPRビデオと『プレミアム体験キャンペーン』の告知ビデオを上映した後、『パイレーツ・オブ・カリビアン 呪われた海賊たち』が上映され、多くの人が足を止め上映会を楽しんでいた。



▲六本木アリーナでのイベント出演者全員で(びいくんを除いて左から2番目が島谷委員長)



▲「11月3日はビデオの日」キャンペーンをPRする島谷委員長



▶第2部「ハロウィンシネマ上映会」の様子

■レンタル 「映画チケット半券キャンペーン」

10月、11月の間に鑑賞した映画チケットの半券を全国のビデオレンタル店に持っていくと、11月3日から11月30日までの間、旧作が無料になるというキャンペーン。劇場ユーザーとビデオレンタル店ユーザーを還流させ、それぞれのユーザー人口を増やそうという狙いであるが、この趣旨に賛同いただき、10月、11月の2ヶ月間に亘り、TOHOシネマズ(株)、(株)松竹マルチプレックスシアターズ、ユナイテッド・シネマ(株)、(株)ティ・ジョイなど大手の映画館を中心に、劇場ロビーなどで本キャンペーンを告知するB全ポスターを掲出していただいた。



▲映画館ロビーに掲示された「映画チケット半券キャンペーン」のB全ポスター

また、レンタル店においても同趣旨を伝えるB2ポスターを掲出するとともに、ポスターの下部には11月30日限定の「ムビチケGIFT」が1,000名に当たるキャンペーンの告知も行った。半券キャンペーンを運営しているCDVJ(日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合)からは、終了後に本キャンペーンの効果測定などについて報告をもらう予定となっている。



▲レンタル店に掲示された「半券キャンペーン」を伝えるポスター

■セル 「プレミアム体験キャンペーン」年末まで期間延長

3,000円以上の映像商品(DVD、ブルーレイ、4KUHD)を購入した方を対象に、業界ならではの「プレミアムな体験」を抽選でプレゼントする「プレミアム体験キャンペーン」は、当初11月30日(木)をもって終了の予定だったが、11月9日(木)開催のセル分科会において、年末までの拡販期もキャンペーン期間として応募の機会を拡大させようとのことから12月31日(日)まで延長することとした(但し、12月中に体験実施が予定されている2賞品については、これまでどおり11月30日をもって応募締切とする)。

セルの店舗には、キャンペーン期間延長を告知した名刺大の販促ツールを配布し、購入者に渡しながら応募の促進に協力してもらうこととしている。



▲追加で制作された「プレミアム体験キャンペーン」期間延長を告知する名刺大販促物(表・裏)

■「ビデオの日」直前の露出について

①サントリー「ザ・プレミアム・モルツ」タイアップキャンペーン始まる

サントリービール(株)の「ザ・プレミアム・モルツ」と「ザ・プレミアム・モルツ<香る>エール」とのタイアップ、「DVDまたはブルーレイ当たります。」キャンペーンが10月24日から始まった。この日から全国に出荷される同商品の6缶パック、約66,000パックのジャケットに“お金で買えない「プレミアム」な業界体験プレゼント! 「プレミアム体験キャンペーン」」を告知しながら、200名の方にDVDまたはブルーレイが当たるというキャンペーン。JVA会員社提供の20作品のDVD、ブルーレイの中から当選者が欲しい作品を選んで応募をしてもらうというもの。キャンペーンは6缶パックの商品がなくなり次第終了。応募の締切は2017年12月18日。



▲「プレミアム体験キャンペーン」が告知されたザ・プレミアム・モルツの6缶パックジャケット

②11月3日の「ビデオの日」を前に、会員社の(株)パップは、「VAPは11月3日「ビデオの日」を応援しています。」のキャンペーンPRとして、CMスポットの出稿をした。詳細は以下のとおり。

実施時期 2017年10月28日(土)～11月3日(金)

実施媒体 日本テレビ(関東ローカル)

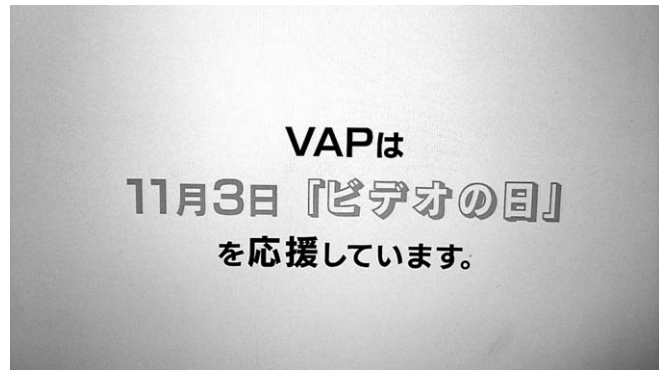
番組名『映画天国』、『news every』、『スッキリ!』等14本

③NHK 『ごごナマ』(全国放送)での放送

NHK11月2日(木)13時05分から放送の『ごごナマ』の3時台のコーナー「オトナの遊び場」に上田直子副事務

局長兼広報課長が出演し、会員各社のビデオ作品の映像をちりばめながらビデオソフト業界の歴史や「ビデオの日」について紹介した。

④NHK 『首都圏ネットワーク』(関東ローカル)での放送
11月2日(木)17時10分～19時の放送『首都圏ネットワーク』の中で、「ビデオの日」キャンペーンなどビデオソフト業界の活性化に向けた取り組みについての特集が放送された。この放送の中では、前述の「プレミアムフライデー ハロウィンシネマパーティー in東京国際映画祭」での島谷会長のスピーチも取り上げられた。



▲「VAPは11月3日「ビデオの日」を応援しています。」CMの場面

理事会

臨時総会および第370回、第371回定例理事会開催報告

2017年10月3日(火)午後2時より当協会会議室において、**臨時総会**を開催した。正会員社29社のうち出席社29社(委任状出席1社、議決権行使書提出9社を含む)だった。以下の決議事項1件につき承認された。

●決議事項

第1号議案 理事1名補欠選任の件・・・承認

高木・ジェームズ・亮理事(NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同))の退任により、その後任として堂山昌司理事(同社)が選任された。

また、総会終了後の午後2時5分より、**第370回定例理事会**が開催された。議事の要旨は次のとおり。

●決議事項

第1号議案 2018年重要会議・行事日程の件・・・承認

第2号議案 2018年新年賀詞交歓会開催の件・・・承認

●報告事項

1. 各部会・委員会報告について
2. 市場活性化キャンペーン経過等報告
3. 2018年西日本合同賀詞交歓会の開催について
4. 知財関係報告

5. ビデオレンタル店実態調査概要報告について
6. 2017年8月度ビデオソフト売上速報について
7. 2017年8月映像配信統計報告について
8. その他

第371回定例理事会は、2017年11月7日(火)午後2時より、当協会会議室について開催された、議事の要旨は次のとおり。

●決議事項

第1号議案 「第28回ブロードバンド特別講演会」に対する共催名義使用承認の件・・・承認

●報告事項

1. 各部会・委員会報告について
2. 市場活性化キャンペーン経過等報告
3. 知財関係報告
4. VRセミナー(後編:クリエイティブ編)開催の件
5. 2018年 新入社員合同研修会開催について
6. 2017年9月度ビデオソフト売上速報について
7. 2017年9月度映像配信統計調査報告について

ビデオレンタル店実態調査 結果報告 ～平均レンタル総売上は 464.4 万円、前年比 89.2% と大幅減～

マーケット調査委員会ビデオレンタル店実態調査グループ（森口和則委員長 松竹(株)）は、本年6月に実施した「ビデオレンタル店実態調査」についての結果をまとめた。今回で31回目となる本調査は、JVA個人向けレンタルシステム加盟店を対象に毎年アンケート調査を行い、経営状況等の把握を継続的に試みている。

月平均総売上は下落傾向は続いている。2004年から続いていた貸出料金下落傾向には下げ止まり感が見られるが、DVD貸出枚数は2013年をピークに減少傾向にあり、今回これまで増加傾向にあったBDの貸出枚数も減少した。

本年の調査結果の概要は以下のとおり。本調査結果は報告書にまとめ（A4版34頁）、会員社をはじめアンケートに回答いただいたレンタル店、関係団体等に配布した。なお一般にも頒布している。また、サマリーをJVAのホームページにおいて公開している。

調査実施概要

調査対象	JVAレンタルシステム加盟のレンタルビデオ店 (ネットレンタル及び自動レンタル機器によるレンタルを除く)
調査時期	2017年6月
調査方法	郵送アンケート方式
調査対象期間	2016年6月～2017年5月の1年間
調査票送付数	2,149票（有効回答率20.0%）
有効回答標本数	495票
調査主体	一般社団法人 日本映像ソフト協会
集計分析	株式会社 文化科学研究所

表1.各調査項目の平均値

2017年（ ）内は前年比										
ビデオレンタル 部門の 月平均売上	総売上	464.4万円 (89.2%)								
	DVD/BD	DVD						BD		
		441.1万円 (89.2%)						25.0万円 (89.3%)		
レンタル実施率		100.0%						97.9%		
売上対前年比別 店舗数構成比	100%未満	93.0%								
	100%以上	7.0%								
平均レンタル 料金 (税抜価格) 単位:円		平均レンタル料金 (DVDとBDの区別なし)								
		新作			準新作			旧作		
		料金	前年差	回答数	料金	前年差	回答数	料金	前年差	回答数
	当日料金	280	－4	(373)	262	－6	(90)	204*	+53	(27)
	1泊2日料金	322	－2	(395)	385	－15	(52)	216*	+81	(13)
	2泊3日料金	377	－2	(385)	288*	－17	(35)	215*	+82	(17)
	一週間料金	496	+58	(325)	276	－2	(393)	114	－0	(398)
	延滞料金	249	－7	(402)	248	－6	(398)	239	－9	(402)
月平均貸出 枚数	枚数	DVD						BD		
		28,482枚 (90.1%)						1,273枚 (87.6%)		
月平均仕入		DVD						BD		
	金額(万円)	165.1万円 (94.2%)						11.0万円 (111.1%)		
	枚数	2,313枚 (109.9%)						72枚 (107.5%)		
在庫	総在庫枚数	59,576枚 (100.3%)								
	枚数	DVD						BD		
		57,634枚 (98.3%)						2,055枚 (104.6%)		
店舗面積	店舗総面積	240.9坪 (97.3%)								
	レンタル部分面積	86.6坪 (100.2%)								
会員数	総数	14,568人 (94.3%)								
	男性	56.3%								
	女性	43.7%								

*回答数が少ないため参考値

<調査結果の概要>

●月平均のレンタル総売上は464.4万円、 前年比89.2%と大幅減

レンタル面積別でみると、100坪未満の中・小規模店は前年比90.9%（424.8万円）であったのに対し、100坪以上の大規模店は前年比88.2%（552.0万円）とやや大きい落ち込みがみられた。

売上規模別店舗構成比をみると、400万円未満が30.5%から42.5%に上昇したのに対し、600万円以上が29.6%から18.5%に減少している。（図3）

DVDレンタル月平均売上金額が441.1万円、ブルーレイレンタル月平均売上金額は25.0万円で、これまで上昇傾向であったBDが特に中・小規模店を中心に大きく減少したのが特徴的な変化である。（図2）

●貸出料金は全体的に下げ止まり感がみられるが、 中期的なDVD貸出枚数の減少傾向に加え、 今年度はBDの貸し出し枚数も昨年度より減少

DVD貸出枚数は2013年をピークに減少傾向にあり、月平均貸出枚数は前年比90.1%の28,482枚となった。また、これまで一貫して伸びていたBDの貸出枚数も減少し、前年比87.6%の1,273枚となった。一方、貸出金額単価をみると、新作1泊2日の平均は347円という結果になった。旧作の1週間料金は123円で前年比較±0となり横ばいである。（図4、5）

図1. 月平均レンタル総売上金額の推移

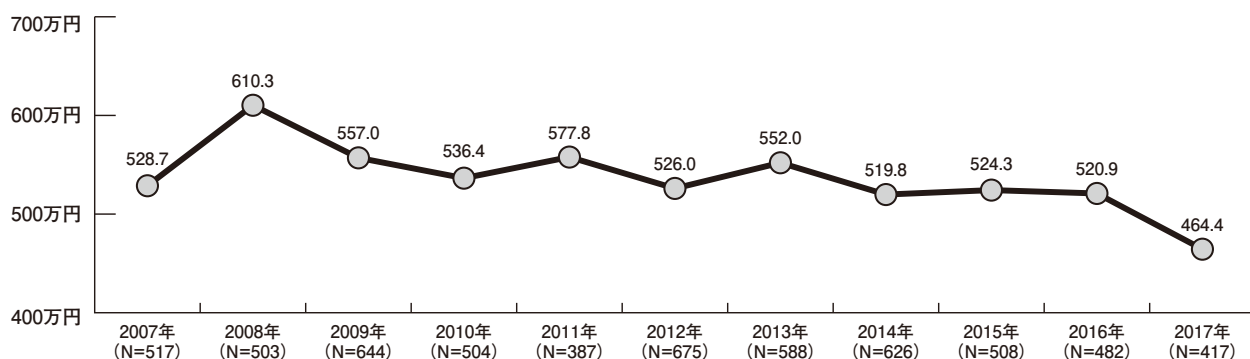
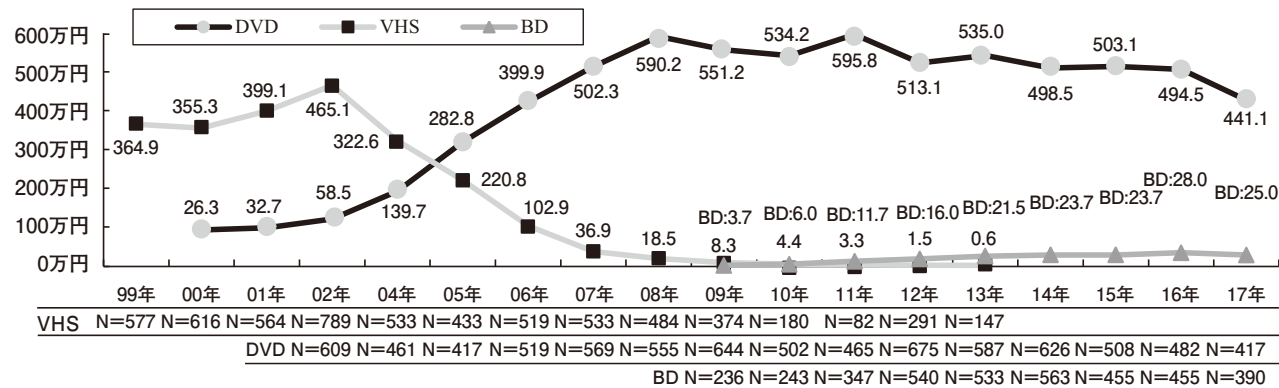


図2. メディア別月平均レンタル売上金額の推移



※VHSは2013年で調査終了 ※調査時期の変更により2003年の調査結果はない

図3. 月平均レンタル総売上における売上規模別店舗数構成比

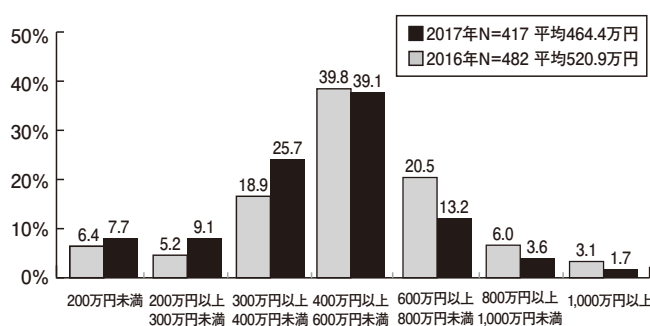
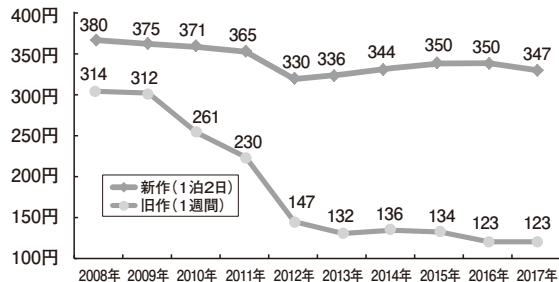


図4. 標準レンタル料金 (1泊2日) の推移 (消費税を含んだ金額)



※2011年以前はDVDレンタル料金
 ※2014年からは税抜価格の調査としたため、調査結果に8%の消費税を加算している

●仕入の金額は減少、

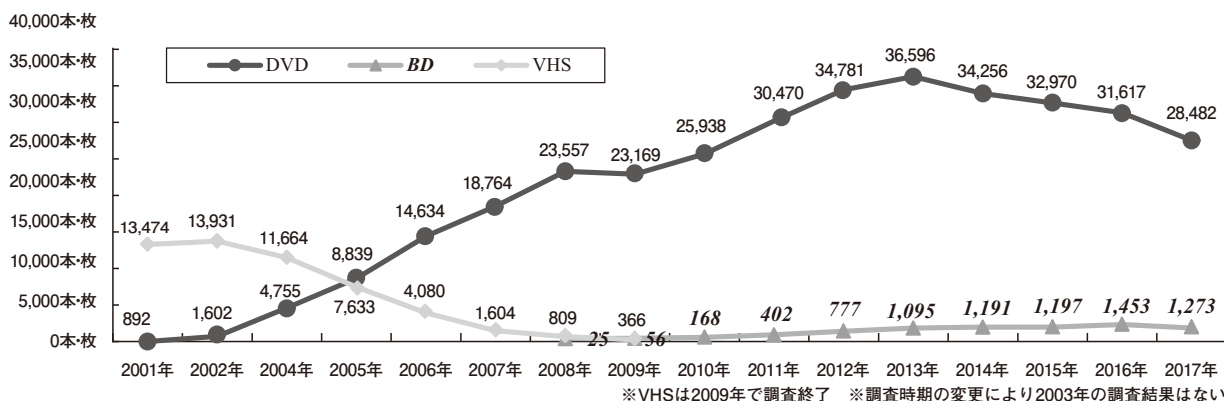
1枚当たりの単価も下落傾向である

DVDレンタルの仕入動向を見ると、月平均仕入金額は165.1万円で前年比94.2%と5年連続で減少傾向であるのに対し、月平均仕入枚数は2,313枚と増加した。1枚あたりの仕入単価は、月平均仕入金額が最も高かった2011年は1枚あたり2,247円であったが、今年は714円まで低下しており、昨年の833円と比べても14%下落している。これは、レベニューシェアリング方式を導入する店舗の比率の高まりならびに導入条件の多様化・複雑化が引き続き背景にあるとみられる。(図6)

●ブルーレイレンタルの展開はDVDと比べ小規模な展開が続く

BDレンタル実施率は97.9%で7年連続の増加となり、レンタル部分の面積規模別に見ても100坪以上の大規模店で98.6%、100坪未満の中・小規模店でも97.6%といずれも95%を超える割合で実施されている。ブルーレイの平均在庫は2,055枚で同104.6%、月平均仕入枚数は72枚で同107.5%と拡大する傾向にあるが、月平均貸出枚数は1,273枚で前年比87.6%、月平均売上は25.0万円で同89.3%と調査以来初めて前年を割り込む結果となった。DVDと比較しても、在庫数で3.6%、月平均貸出枚数で4.5%、月平均仕入枚数で3.1%、売上金額で5.7%に留まっており、実施規模はDVDに比べるとまだ小規模に留まっている。(表1)

図5. メディア別レンタル 貸出枚(本)数の推移



●平均会員数は減少傾向である

平均会員数は前年比94.3%の14,568人となった。会員の男女比は、これまでと同様に男性6割：女性4割といった比率に大きな変動はないが徐々に女性比率が上がっている。年齢別

の会員構成比率を見ると、15歳未満から20代後半の構成比が全て減少しており、30代以上の構成比がすべて増加している。(図7、8)

図6. 月平均仕入金額(上)・枚数(下)の推移

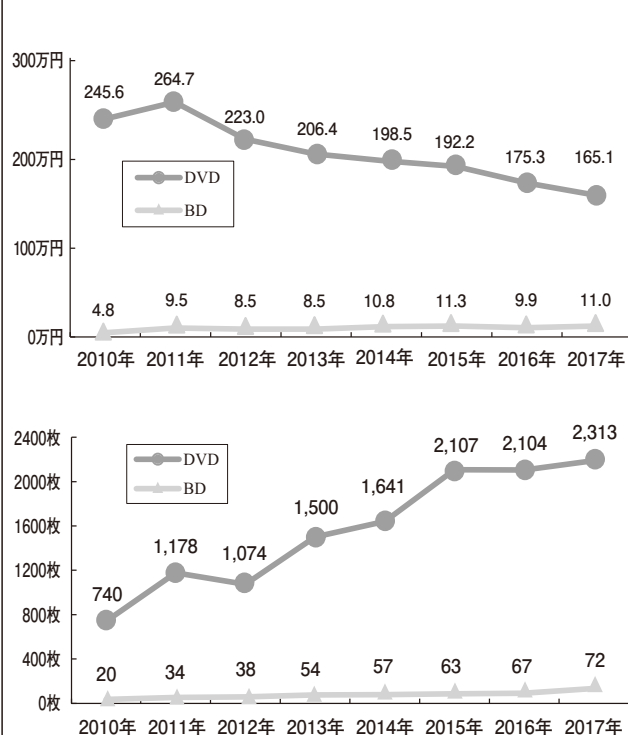


図7. 平均会員数の推移

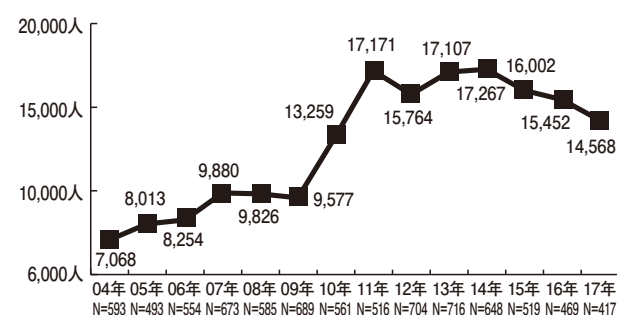
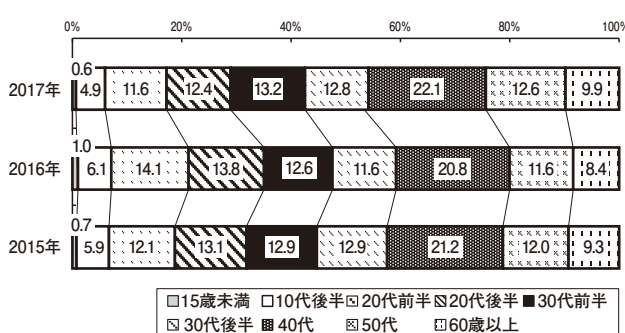


図8. 会員の年齢構成比の推移



eメディア部会運営委員会開催報告

eメディア部会運営委員会(栗橋三木也委員長 (株)KADO-KAWA)は、10月11日(水)および11月2日(水)に当協会会議室において運営委員会を開催した。10月度会議には文筆家の西田宗千佳氏を、続いて11月度会議には(株)ワイズ・メディア代表取締役でありメディアストラテジストの塚本幹夫氏をそれぞれ講師としてお迎えし、映像関連ビジネスの今後の展望について議論が交わされた。いずれの会議においても、eメディア部会が2017年度の総合テーマとして掲げる「2020年を見据えて」を題材としたプレゼンテーションが両氏からなされた後、各委員による活発な質疑応答が行われた。それらのやりとりを通して、映像メディアはもとより、広く世間一般をも取り巻く情報通信技術を始めとした各種テクノロジーの急速な発展に伴い、ダイナミックに変容することが予想されるビジネスの行く末と、その激しい変化をどのように受け止め成果に結びつけていくか等についての知識と理解が深まった。なおeメディア部会では、今後も同様な運営委員会を開催し、年度末の3月には、それまでに開催された各運営委員会の内容を総括したセミナーを実施する予定である。

映像ソフト市場規模及び
ユーザー動向調査2017について

業務部会マーケット調査委員会(森口和則委員長 (株)松竹)は、本年度もデジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン(DEG)と合同で、『映像ソフト市場規模及びユーザー動向調査』を実施する。

本調査は、2017年の1年間(1月~12月)の、日本国内おいての消費者(16歳~69歳の男女)のビデオソフト(DVD、ブルーレイ、Ultra HD ブルーレイ)の購入とレンタルの消費動向、有料動画配信の利用状況についてインターネットを利用して調査を行い、ユーザーレベルによるパッケージ映像ソフト市場と有料動画配信の市場規模を推定することを目的としている。

11月10日(金)・28日(火)に当協会会議室において、同委員会のユーザー動向調査グループメンバーが、調査項目を検討する会議を行った。有料動画配信の新しい事業形態や、昨今の視聴環境の変化等、映像パッケージ利用者と有料動画配信利用者の動向について意見が交わされた。これを基に調査項目を見直し、来年1月に調査実施をする。結果発表は4月の予定である。

イベント

JVA&JVR共催「VRセミナー(前編・後編)」を開催

JVAと(一社)日本VR振興普及協会(JVR)は共催による「VRセミナー」を当協会会議室において、前編と後編の2回にわたり開催をした。

前編は「マーケティング編」とし、10月18日(水)午後2時から4時に行い、57名が参加した。冒頭にJVA後藤専務理事とJVR佐藤理事長より挨拶があった。佐藤理事長は「バーチャルリアリティ(VR)は世界中で注目されている次世代映像プラットフォームだ。その一方で、VRコンテンツは基準・規格が統一されておらずルールも整備されていない。また人体への影響などの問題も指摘されており、これらの諸問題を解決することにより、VRの普及が実現されるだろう。当協会では会員の皆様と一緒にその諸問題に取り組んでまいりたい。」と挨拶した。続いて、(株)Mogura久保田隣氏による講演『VRの現状と今後の展開について』では、国内のVR市場の動向や、ハリウッドでのVRを使った展開について紹介をした。

後編は「クリエイティブ編」として、11月15日(水)午後2時から4時に行い、56名が参加した。今回は前編にお話いただいた久保田氏がモデレーターを務め、実際にVRビジネスを展開する企業の(株)eje待場勝利氏、(株)パシフィックボイス大橋哲也氏、SKIPシティ国際Dシネマ映

画祭長谷川敏行氏、(株)デジタルSKIPステーション廣瀬敏氏をパネラーにお迎えし、『VRで映画はどう変わるのか、行方を語る』をテーマにパネルディスカッションを行った。実際にVR映像を制作し事業を展開している立場から、課題や展望についてお話いただいた。

また両日とも講演後に、「VR体験会」を実施し、参加者はVRの模擬撮影体験や最新のデバイスによる視聴体験をした。

▼後編のパネルディスカッションの様子



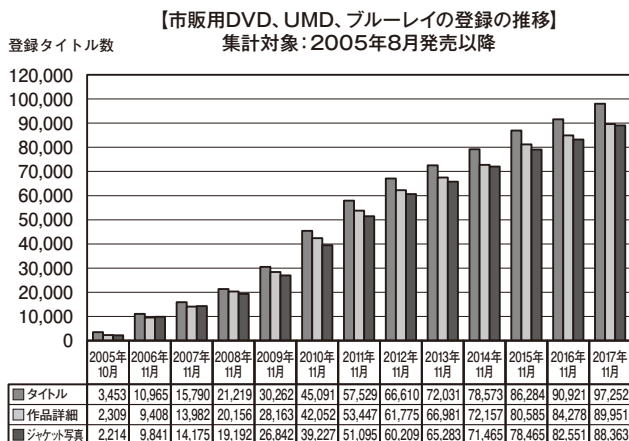
映像データベースの作品登録状況

DVD・ブルーレイの販売プロモーションを目的に、2004年の12月から映像作品のデータベースの蓄積作業の協力を依頼している(株)ジャパンミュージックデータ(jmd)より、蓄積作業とその活用が順調に行われているとの報告がなされた。

2017年11月現在で、JVA加盟社のDVD、UMD、ブルーレイ商品の一般市販映像商品登録数(音楽作品除く)は97,252タイトル(前年登録数90,921、前年比107%)となった。作品詳細は92.5%、ジャケット写真は91%が登録されている。(資料1)

資料1

- ◆データ抽出日: 2017/11/7
- ◆対象商品: JVA加盟正会員社の一般市販映像商品(DVD、UMD、ブルーレイ)
- ◆対象外: 音楽、アダルト、レンタル専用商品、廃盤、権利切れ商品

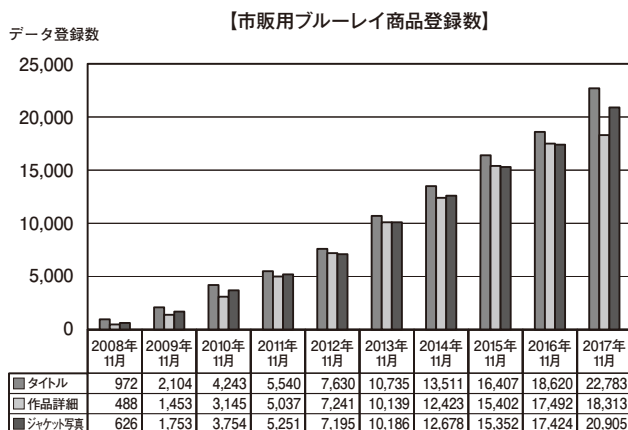


ブルーレイの一般市販映像商品(音楽作品を除く)数は22,783タイトル(昨年登録数18,620、前年比122%)となった。作品詳細は80.4%、ジャケット写真は91.8%が登録されている。昨今好調な音楽映像商品に特化してみると2017年10月末のJVA加盟正会員社の登録タイトル数は13,386件(前年比111.8%)と伸びは大きい。(資料2)

2017年10月末の時点でjmd映像データ提供先は55社となっている。また、星光堂を経由して(株)DMM.comや(株)ヤマダ電機などのサイトにもjmd映像データが活用されている。

資料2

- ◆データ抽出日: 2017/11/7
- ◆対象商品: JVA加盟正会員社の一般市販映像商品(ブルーレイ)
- ◆対象外: 音楽、アダルト、レンタル専用商品、廃盤、権利切れ商品



【集計対象の変更】2008年、2009年、2010年の実績には「JVA非加盟社」「音楽」「アダルト」のデータが含まれます。

総務人事委員会

2018年度 新入社員合同研修会開催のお知らせ

総務人事委員会(枇榔浩史委員長 東宝(株))では、正会員社の2018年度新入社員を対象とした、「2018年度 新入社員合同研修会」を開催する。

この研修会は、業界にかかわる知識や理解を深めていただくとともに、同業他社との交流や親睦を通して、今後の業務の一助となればという目的で、一昨年より始めた企画で、これまで総勢284名の新入社員の皆様に参加いただいた。

参加募集は総務人事委員会と総合連絡委員会を通して行っている。

日程他は以下のとおり。

●日程

- 1回目: 2018年4月13日(金) 午後1時30分から17時
- 2回目: 2018年4月20日(金) 午後1時30分から17時

- 会場 JVA会議室(予定)人数により近隣施設に変更の場合あり

- 参加費 5000円/人(懇親会費込み)

●研修内容(予定)

1. 日本の映像コンテンツ市場について
2. 海外の映像コンテンツ市場について
3. 映像ソフトに関わる基本的な権利(著作権)について
4. グループワーク

- 募集締切 12月25日(月)

※両日ともに研修内容は同じ。研修後は懇親会を行う。

本件に関するお問合せは事務局八十河まで。

(電話03-3542-4433)

2018 年新年賀詞交歓会開催のご案内

毎年恒例の、JVA 新年賀詞交歓会を開催いたします。会員社の皆様、関係官庁、関係団体、業界関連の皆様にお集まりいただき、新年の門出をご一緒に迎えたく存じます。ご来場をお待ちしております。

- 日時 2018年1月10日(水) 午前11時30分から
午後1時30分まで(開場11時15分)
 - 場所 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
東京千代田区九段北4-2-25
(URL:<http://www.arcadia-jp.org/access.htm>)
 - 会費 お一人様10,000円
- なお、会員社の皆様へは総合連絡委員の方を窓口として、関係各位にはご招待状を送付して既にご案内をしております。この件に関するお問合せは、管理部伊藤まで。
(電話03-3542-4433)

※事前のお申込みがない場合にはご入場をお断りさせていただきます場合がありますのでご了承ください。

JVA・西日本地区連・中部地区連・CDVJ
西日本合同 賀詞交歓会開催のご案内

JVA・関西地区連絡協議会・中部地区連絡協議会・日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合(CDVJ)は、「西日本合同賀詞交歓会」を開催いたします。西日本の映像ソフト業界関係者が一堂に会する新年会とし、2016年より合同主催で行っています。

2018年新年の門出をともに祝い、情報交換や交流を深めていただく場としたいと存じます。皆様のご来場をお待ちしております。

- 日時 2018年1月17日(水) 午後12時30分から
午後2時30分(受付12時00分より)
 - 場所 ホテルメルパルクOSAKA5Fカレーナ(予定)
大阪府大阪市淀川区宮原4-2-1
電話:06-6350-2111
 - 会費 お一人様5,000円(※会場にてご精算ください)
- ※なお、本件に関するお問い合わせは、各地区連担当者またはJVA事務局八十河まで。

2018年 重要会議・行事日程

月	理事会	総合連絡委員会	業務部会幹事会	その他
2018年1月	休会	休会	25日(木)16時30分	新年賀詞交歓会 10日(水)11:30~アルカディア市ヶ谷
2月	6日(火)14時00分	13日(火)16時00分	22日(木)16時00分	——
3月	6日(火)14時00分	13日(火)16時00分	29日(木)16時00分	——
4月	3日(火)14時00分	10日(火)16時00分	26日(木)16時00分	懇親ゴルフコンペ
5月	8日(火)14時00分	15日(火)16時00分	31日(木)16時00分	——
6月	7日(火)総会終了後	12日(火)16時00分	28日(木)16時00分	総会
7月	3日(火)16時30分	10日(火)16時30分	休会	役員懇親会 (理事会終了後)
8月	休会	休会	30日(木)16時00分	——
9月	4日(火)14時00分	11日(火)16時00分	27日(木)16時00分	秋の懇親会 (総合連絡委員会終了後)
10月	2日(火)14時00分	9日(火)16時00分	25日(木)16時00分	——
11月	6日(火)14時00分	13日(火)16時00分	29日(木)16時00分	——
12月	4日(火)14時00分	11日(火)16時00分	休会	——
2019年1月	休会	休会	31日(木)16時00分(仮)	新年賀詞交歓会 9日(水)11:30~アルカディア市ヶ谷

『ほんと？ホント！フェア』京都・函館・青森・福井で開催

不正商品対策協議会（ACA）では、「ほんと？ホント！フェア」を従前の年一回一都市での開催を変更し、今年度より年六回複数都市で開催することとした。

10月9日にイオンモールKYOTO Sakura館4F Kotoホール（京都市）、10月15日にイトーヨーカドー函館店（函館市）、10月21日にサンロード青森（青森市）、11月5日にアピタ福井大和田店（福井市）において開催し今年度の全フェアを終了した。

全イベントでは、インターネットを悪用したサイバー犯罪が増加していることを受け、一般消費者に知的財産の保護と不正商品の排除、情報セキュリティの重要性を訴えかけた。

『ほんと？ホント！フェアin京都～守ろう情報セキュリティと知的財産～』

- 主催 京都府警察／不正商品対策協議会（ACA）
- 協力 イオンモールKYOTO／公益社団法人京都府防犯協会連合会／国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）
- 後援 警察庁
- 来場者 約500人

□女優・吉岡里帆さん主演「一日サイバー犯罪対策課長」委嘱式&トークショー、京都すばる高校吹奏楽部ミニコンサート、高校生サイバーボランティア「サイバー防犯寸劇」等が行われた。



▲「一日サイバー犯罪対策課長」に任命された吉岡里穂さん（京都）



▲出演者全員でキャンペーンコール（京都）

『サイバーセキュリティキャンペーン～ほんと？ホント！フェアin函館～』

- 主催 不正商品対策協議会（ACA）／北海道警察
- 協力 函館税関／国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）／一位物産（株）／独立行政法人情報処理推進機構／函館方面サイバーセキュリティ連絡会議
- 後援 警察庁／特許庁
- 来場者 約800人
- 函館で人気のトラベリングバンド「ひのき屋」のミニライブ、北海道警察によるサイバーセキュリティ体験デモ等が行われた。

『ほんと？ホント！フェアin青森～守ろうサイバー空間の安全と知的財産～』

- 主催 不正商品対策協議会（ACA）／青森県警察
- 協力 サンロード青森／青森県情報システム課／国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）
- 後援 警察庁／特許庁
- 来場者 約800人
- 青森住みます芸人「キューティーブロンズ」のミニライブ、青森県警察によるインターネットトラブル疑似体験等が行われた。

『ほんと？ホント！フェアin福井～守ろう情報セキュリティと知的財産～』

- 主催 不正商品対策協議会（ACA）
- 協力 アピタ福井大和田店／国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）
- 後援 警察庁／福井県警察本部／福井警察署／特許庁
- 来場者 約800人
- 福井県住みます芸人「クレヨンいとうと飯めしがれこれにお」のミニライブ、サイバー犯罪ボランティア福井大学「サイバニクス」トークショー等が行われた。

（執筆：ACA事務局）

▼○×クイズの様子（青森）



▼○×クイズにはたくさんの皆さんが参加した（函館）



▼ホンモノとニセモノの比較が展示された（福井）



CODA 会員社向けアンケートを実施

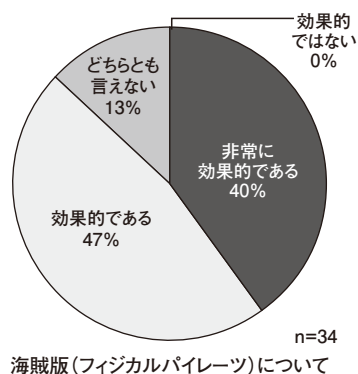
2002年2月、第15回国会の施政方針演説において小泉純一郎首相（当時）は、知的財産を戦略的に保護・活用し我が国産業の国際競争力を強化することを国家目標とする「知財立国宣言」を行った。これを受け、経済産業省と文化庁の支援の下に設立されたCODAは今年設立15周年を迎えた。この15年で、コンテンツの流通形態はもとより、デジタル・ネットワーク環境も大きく進展し、著作権侵害やその対策も大きく変容している。

15周年を機にCODAは、今後将来にわたる活動方針を作成するため、会員を対象にCODA活動に対するアンケートを実施した。日本を代表するコンテンツホルダーである会員らの意向を受け、CODAは実効性のある活動に向け、精査を行っていく。

■海賊版（フィジカルパイレーツ）対策

CODA設立当初からの課題は、海外における海賊版販売店の摘発である。これまで、中国、香港、台湾を対象として取締りを行い、9月末現在の取締件数は約1万7千件、約3,700人が逮捕され、押収されたDVD等は698万枚を超えている。この結果、今日では一部地域を除き、東アジア地域で日本コンテンツの海賊版が堂々と販売されることはなくなった。

この活動については、特に現地当局との強固な信頼関係が築かれていることや継続的な取締りが行われていることなどについて、会員の評価を得ている。

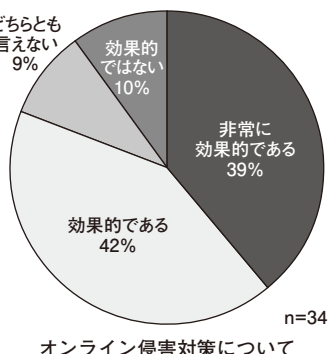


海賊版（フィジカルパイレーツ）について

■オンライン侵害対策

一方、無許諾アップロードなどの、インターネット上の権利侵害は国際的にも大きな課題となっている。CODAでは2009年度より、動画投稿サイトなどを対象に「自動コンテンツ監視・削除センター」を運営し、クロージング技術によるサイト監視とフィンガープリント技術による動画認識（照合）を組み合わせ、違法動画の早期発見・削除を実現している。また、現地政府機関やサイト運営社と直接会って交渉を行い、その結果、2017年3月までに行った276,719件の削除要請は、97.97%の割合で削除が実行されている。現在、対象となるサイトの数を増やしつつ、TV放送から直接フィンガープリントを生成することや、音のフィンガープリントの採用、人的モニタリングの強化など、さらなる対策の拡充を推進している。

会員からは、概ね高評価を得ているものの、対策がいたちごとくになっており現状が満足できる状況ではないことや、分野によっては対策が難しいことなどの意見も寄せられた。

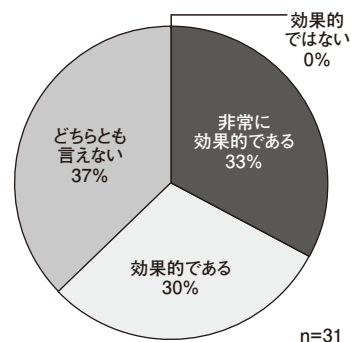


オンライン侵害対策について

■偽物グッズ対策

中国において、日本のアニメ制作会社が著作権を有するキャラクターの偽物グッズが販売された際、行政摘発や商品の撤去を指導・警告するなどの活動を実施している。

対象となる会員からは中国において著作権登録を行っていないキャラクターについても対策を行えることが画期的であるとの評価を得る一方、海外への商品展開を行っていない会員も多く、活動やその成果の認知度が低いことが伺える。

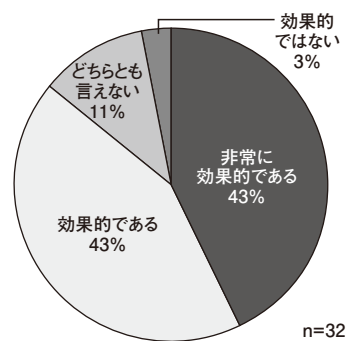


偽物グッズ対策について

■侵害に対する間接的な対策

著作権侵害に国境がなくなった今日では、侵害行為者や侵害物に対する「直接的」な対策は困難を極める。そこでCODAでは、違法コンテンツへのアクセスを阻止することや、侵害行為者への資金源を遮断するなど、間接的な侵害対策も並行で実施している。

この活動が効果的であるとの声は多く、さらに抜本的な対策のため、海賊版誘導サイト（リーチサイト）に対する法改正を望む声などが多く挙げられた。

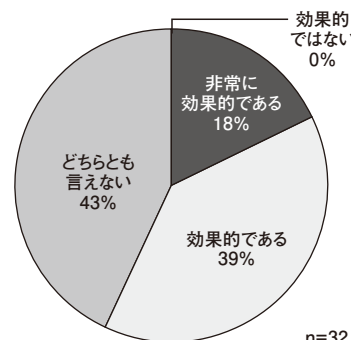


侵害対策に関する間接的な対策について

■海外における正規流通への支援

日本のコンテンツホルダーが、中国や韓国の動画配信事業者と直接面談し正規配信に関する交渉を行う「ビジネスマッチング」を2010年より定期的に開催している。

この活動に参加する会員が限られることから、実態が把握できないとの声が多かったが、参加した会員からは、新しいビジネスへ繋がっていると評価されている。



海外における正規流通への支援について

■その他要望等

一企業では実現できない問題に対し、CODAが中心となり、中長期的な対策を継続してほしいとの意見が多く寄せられた。アジア太平洋地域における知財保護に関しては日本がその旗振り役となれるよう、世界に対してアピールできる活動の実現を目指して行きたい。（執筆：CODA事務局）



リレーエッセイ

128

20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン(株) 下村 省吾 氏からのご紹介

●曾我 謙介 氏

(株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント ホームエンタテインメント 営業統括本部 本部長 バイスプレジデント)

「人間観察」

好奇心だけは旺盛なものの、飽きやすくなかなか物事が続かない私ですが、数少ない長年続けていることがジム通いです。大学時代からかれこれ25年間も同じジムに通い続けています。

当初は、トレーニングをすればするほど身体に変化が現れ、一度変化が出始めるとそれをキープするためにひたすら通い続けていました。そのうちどんどんそれが過剰になっていき、週に4～5回、1回あたり2～3時間もトレーニングするほどにのめりこみ、ワンサイズ小さいTシャツを着ながら、6つに割れた腹筋を見てニヤニヤしていたこともありましたが、今考えると苦痛以外何物でもないですが、その苦痛が当時は心地いいと感じていたのだと思います。自分では気づいていなかったのですが、ナルシストだったのかもしれません。

それから年月が経ち、今では辛うじて週に一回行くかどうかの頻度になりました。割れていた腹筋の面影はすっかり消え去り、立派な中年腹になってしまいましたが、長年の行動パターンが身体に染み付いているせいか、いまだにジムに通い続けています。昔のような激しいトレーニングは一切せず、頭の中を空っぽにしてリセットすることと人間観察が今の主目的です。

様々な年代、性別の人達がジムには来ています。実際に肉体改造を目的としている人、あまり鍛えるのではなく適度に運動をしたい人、お喋りや人間関係を楽しみにしている人、マナーにうるさくやたら周りの人に注意ばかりしてい

る人、きっちり順番通りトレーニングをしないと我慢できない人、人の迷惑を顧みずマシンをやたらと占領したがる人、格好や髪型を気にして何をしに来ているのか分からない人、独り言や雄叫びをあげながらトレーニングしている人、風呂に入り浸っている人。

特に、興味深いのは成果を出している人達、いわゆるマッショの方々です。そのような人達は、一人で来ている傾向が強く、無駄話などは一切せず、ひたすらトレーニングに集中して、時にノートをとったりして身体の動きの分析を怠りません。そこに年代や性別は関係なく、共通点は真剣度が非常に高いことです。無理矢理やらされているのではなく、様々な情報を積極的に吸収することにより目標に達するまでのプロセスを自ら研究して、自己節制しながら黙々と追及しています。義務、強制、苦しみといったネガティブな理由ではそのようなことを長続きさせることはできません。そのような人達は自ら立てたゴールを達成する楽しみを見出しているのでしょう。

それは決してトレーニングに限った話ではなく、ビジネス、スポーツ、芸術など、各界で成功された人に共通したアプローチであり、自分自身でモチベーションを生み出し、それを追求することの大切さを改めて再認識させられます。

そんなことをおじさんだらけのサウナで考えながら、身体だけではなく、頭のトレーニングのために、これからも地道にジムに通い続けようと思っています。

▼日誌に見る協会の動き

【10月】

- 2日 ビデオレンタル店実態調査グループ会議
ACA企画広報部会
- 3日 臨時総会、定例理事会
- 4日 マーケティング委員会
- 6日 権利者団体対応委員会
著作権部会
- 10日 総合連絡委員会
「ビデオの日」PR分科会
- 11日 eメディア部会運営委員会
- 12日 「ビデオの日」セル・レンタル分科会
- 13日 業務使用対策委員会
- 17日 市場活性化キャンペーンWG

- 18日 セミナー「VRの現状と課題」(前編)
- 19日 消費者委員会
- 24日 「ビデオの日」セル・PR分科会
- 25日 「ビデオの日」レンタル分科会
- 26日 業務部会幹事会

【11月】

- 2日 eメディア部会運営委員会
- 6日 市場活性化キャンペーンWG
- 7日 定例理事会
- 8日 マーケティング委員会
- 9日 「ビデオの日」セル・ビデオ分科会

- 10日 「ビデオの日」PR分科会
ユーザー動向調査グループ会議
業務使用対策委員会
- 14日 総合連絡委員会
- 15日 セミナー「VRの現状と課題」(後編)
- 22日 総務人事委員会
- 28日 ユーザー動向調査グループ会議
「ビデオの日」セル・レンタル・PR分科会
- 29日 ACA企画広報部会
- 30日 業務部会幹事会

統計

JVA会員によるメーカー出荷段階の金額、数量について集計した統計調査

2017年9月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	9 月 実 績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								売上金額の 増減社数	1 月 ～ 9 月 の 累 計							
	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同月比	新作数	前年 同月比		金 額	構成比	前年 同期比	数 量	構成比	前年 同期比	新作数	前年 同期比
販売用(個人向)	4,170	53.9%	98.7%	1,238	38.2%	100.4%	422	84.2%	増 減 13社 16社 1社	43,891	59.9%	86.7%	12,795	38.8%	85.1%	3,812	100.4%
特殊ルート	20	0.3%	285.7%	27	0.8%	30.4%	2	13.3%		445	0.6%	81.5%	1,084	3.3%	46.3%	166	36.7%
レンタル店用	3,466	44.8%	74.8%	1,942	59.9%	63.5%	308	59.3%		28,326	38.6%	85.8%	18,905	57.3%	91.1%	3,408	99.1%
業務用	77	1.0%	104.1%	33	1.0%	65.5%	13	68.4%		671	0.9%	72.1%	194	0.6%	21.2%	310	135.4%
DVDビデオ	7,733	48.6%	86.5%	3,240	67.8%	73.1%	745	70.7%	増 減 15社 13社 2社	73,333	53.5%	86.1%	32,979	71.6%	84.5%	7,696	97.0%
販売用(個人向)	7,750	94.6%	124.6%	1,367	88.9%	120.1%	285	89.6%		60,017	94.2%	100.2%	11,334	86.5%	97.6%	2,496	105.9%
特殊ルート	80	1.0%	615.4%	24	1.5%	—	0	0.0%		899	1.4%	279.2%	335	2.6%	430.0%	20	76.9%
レンタル店用	283	3.5%	74.7%	135	8.8%	51.4%	15	78.9%		2,552	4.0%	92.4%	1,383	10.6%	82.5%	186	124.0%
業務用	76	0.9%	1085.7%	12	0.8%	1549.4%	0	—		274	0.4%	314.1%	45	0.3%	234.6%	1	—
ブルーレイ (Ultra HD ブルーレイを含む)	8,189	51.4%	123.8%	1,537	32.2%	109.9%	300	88.2%	63,742	46.5%	101.0%	13,097	28.4%	97.8%	2,703	106.7%	
合 計	15,922	100.0%	102.4%	4,777	100.0%	81.9%	1,045	75.0%	137,075	100.0%	92.5%	46,076	100.0%	87.9%	10,399	99.4%	

◎今月の売上報告社数……30社(*前年同月の報告社数31社) ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、又は前年同月の報告がない場合
◎「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。ただし、「レベニューシェアリングのみ」でリリースされる作品数は合計値に加算されている。
◎雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるビデオソフトの出荷について「特殊ルート」として本統計調査に加えている。
◎ブルーレイの売上には、Ultra HD ブルーレイの売上を含む。 ◎累計値には、1月～6月の数字として、2017年上半期調査の数字を用いている。

2017年10月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	10 月 実 績 (金額単位:百万円 数量単位:千本・千枚)								1 月 ～ 10 月 の 累 計								
	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同月比	新作数	前年 同月比	売上金額の 増減社数	金 額	構成比	前年 同期比	数 量	構成比	前年 同期比	新作数	前年 同期比
販売用(個人向)	3,731	54.0%	92.0%	1,148	31.0%	79.5%	328	104.8%	増 減 8社 21社 1社	47,622	59.3%	87.1%	13,944	38.0%	84.6%	4,140	100.8%
特殊ルート	64	0.9%	46.0%	173	4.7%	170.2%	3	8.8%		509	0.6%	74.3%	1,257	3.4%	51.5%	169	34.8%
レンタル店用	3,071	44.4%	88.1%	2,343	63.3%	90.9%	546	121.3%		31,397	39.1%	86.0%	21,248	57.9%	91.1%	3,954	101.7%
業務用	48	0.7%	82.8%	37	1.0%	414.5%	15	187.5%		719	0.9%	72.7%	231	0.6%	25.0%	325	137.1%
DVDビデオ	6,914	49.9%	89.4%	3,700	68.4%	89.6%	892	110.8%	増 減 12社 16社 2社	80,247	53.2%	86.4%	36,679	71.2%	85.0%	8,588	98.3%
販売用(個人向)	6,591	95.1%	131.7%	1,485	87.0%	143.0%	276	119.5%		66,608	94.2%	102.6%	12,819	86.6%	101.3%	2,772	107.1%
特殊ルート	9	0.1%	—	1	0.0%	—	2	200.0%		908	1.3%	383.1%	336	2.3%	686.3%	22	81.5%
レンタル店用	313	4.5%	118.6%	218	12.8%	136.4%	20	111.1%		2,865	4.1%	94.6%	1,601	10.8%	87.2%	206	122.6%
業務用	17	0.2%	9.3%	2	0.1%	12.1%	0	—		291	0.4%	108.1%	47	0.3%	119.1%	1	—
ブルーレイ (Ultra HD ブルーレイを含む)	6,930	50.1%	129.2%	1,706	31.6%	143.4%	298	119.2%	70,672	46.8%	103.2%	14,803	28.8%	101.6%	3,001	107.8%	
合 計	13,844	100.0%	105.7%	5,407	100.0%	101.6%	1,190	112.8%		150,919	100.0%	93.5%	51,482	100.0%	89.2%	11,589	100.6%

◎今月の売上報告社数……30社(*前年同月の報告社数31社) ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、又は前年同月の報告がない場合
◎「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。ただし、「レベニューシェアリングのみ」でリリースされる作品数は合計値に加算されている。
◎雑誌やコミック、食玩などとして他商品に付帯されるビデオソフトの出荷について「特殊ルート」として本統計調査に加えている。
◎ブルーレイの売上には、Ultra HD ブルーレイの売上を含む。 ◎累計値には、1月～6月の数字として、2017年上半期調査の数字を用いている。

好評につき
期間延長決定!

11月3日はビデオの日

プレミアム体験

キャンペーン

まだチャンスあり!
期間延長
10.1→12.31

DVD・ブルーレイ・UHDを3,000円以上
購入した方へ、抽選でプレミアムな体験プレゼント!

※一部賞品は12月7日(木)応募分までで締め切らせていただきます。

一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2017年12月1日現在

■ 正会員(29 社)

アスミック・エース(株)
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・ピクチャーズ(株)
(株) NHK エンタープライズ
NBC ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)
(株) KADOKAWA
ギャガ(株)
キングレコード(株)
(株) JVC ケンウッド・ピクチャーエンターテインメント
(株) 小学館
松竹(株)
(株) ソニー・ピクチャーズエンターテインメント
(株) ソニー・ミュージックエンターテインメント
(株) 第一興商
TC エンターテインメント(株)
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
(株) 東北新社
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
(株) バップ
(株) ハピネット
バンダイビジュアル(株)
(株) ポニーキャニオン
ユニバーサルミュージック(同)
(株) よしもとミュージックエンターテインメント
リバプール(株)
ワーナー ブラザース ジャパン(同)

■ 協賛会員(18 社)

(株) アニプレックス
(株) 一丸印刷所
(株) IMAGICA
エイベックス・エンターテインメント(株)
カルチュア・エンターテインメント(株)
(株) キュー・テック
(株) 金羊社
(株) ケンメディア
(株) ジャパン・ディストリビューションシステム
(株) 星光堂
ソニー PCL (株)
東芝デジタルフロンティア(株)
(株) 徳間ジャパンコミュニケーションズ
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
(株) 博報堂 DY ミュージック & ピクチャーズ
(株) ムービーマネジメントカンパニー
メモリーテック(株)

編集・発行 一般社団法人 日本映像ソフト協会

〒104-0045 東京都中央区築地2-11-24 第29興和ビル別館2F 電話:03-3542-4433 FAX:03-3542-2535 <http://www.jva-net.or.jp>



サラリーマン 山崎シゲル

× 日本映像ソフト協会 <http://www.jva-net.or.jp/anti-ripping/>

アンチリッピングキャンペーン DVDのリッピングは違法です!

知って
いますか?

毎年 **11月3日**は
ビデオの日
http://www.videonohi.jp/